

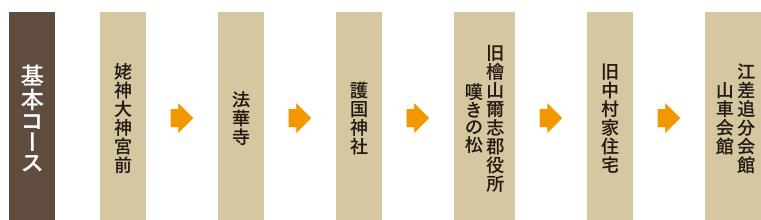
ニシンの繁栄が息づくいにしえ街道

どうなん・追分シーニックバイウェイ

文化と
歴史の道 江差町

どうなん
ROAD MAP

歴史と文化に恵まれた江差町は、日本海に浮かぶかもめ島を中心に市街地が広がり、上町と下町の二階建ての地形を成し、町中どこから眺めても素晴らしい風景と景観の宝庫と言われています。時間に合わせて、コースをゆっくりと歩いて、江差の魅力を発見しながらお楽しみください。



- 時 期／通年
- 歩行距離／約3.2km
- 所要時間／60分
- ガイド料金／1名 1,000円
- 申込方法／7日前まで下記へお問い合わせください。

■問合せ先／江差観光情報総合案内所（開陽丸記念館内）
TEL.0139-52-0117
江差観光コンベンション協会事務局
TEL.0139-52-4815



基本コース

江差の五月は江戸にもないと言われた時代。この細い浜に面して多くの商家が並び、北辺の港町でありながら江差の品揃えは江戸、大阪と変わらない豊かさを誇りました。今では遠い思い出となりましたが、江差には当時の有様を伝える建物が今なお多く残されている。



旧中村家住宅



旧檜山爾志郡役所

旧檜山爾志郡役所にある松の古木。新撰組の土方歳三は、江差沖で沈みゆく軍艦「開陽丸」を見つめながら、この松の木こぶを叩いて嘆いたと言われる。



法華寺

約500年前に上ノ国で創立され、その後、江差に移転し本堂を建立。室町時代の建築美を残しています。山門は300年以上前に檜山奉行所の正門として建てられたもので、これも北海道最古の建物の一つ。本堂の7m四方の天井に描かれた「八方睨みの龍」は圧巻。



姥神大神宮

創立年代は不詳ですが、言い伝えでは約570年前の折居姥の草創とされています。現在地に移転したのが1644年。1817年には正一位姥神大神宮号を勅許された北海道最古の神社です。



【特記及び注意事項】

- ①各観光施設に観光パンフレットを設置しております。
- ②次の施設では無料Wi-Fiを利用できます。・旧檜山爾志郡役所・旧中村家住宅・町会所会館・木どりやカンナツキ
- ③観光案内所はかもめ島入口の開陽丸記念館内にありますが、各観光施設でも気軽に問い合わせ下さい。



いにしえ街道

北前船の交易とニシン漁で栄えた江差。問屋蔵・商家・社寺など、昔ながらの情緒あふれる街並みは、この町の大切な歴史遺産。街道の住人は江差の昔と今をつなぐ「語り部」でもある。